

■鈴木政吉 楽器製造業者。日本初の本格的バイオリン“スズキバイオリン”が世界的に。国産マンドリンも第一号。

すずきまさきち

安政の大獄・1859＝ 名古屋宮出で、百姓から士族株を買って尾張藩の足輕となった鈴木正春の次男に生まれる。

桜田門外変・1860＝ 1歳：

父は、神官の娘で貞淑な妻の助力を得ながら、細工好きの腕を琴・三味線作りの内職に発揮して、どうにか家族6人を養う身の上であった。

若くしてこの世を去った長兄の身代わりとして奔放に育ち、

薩長同盟・・1866＝ 7歳：漢学を習いはじめ、

明治維新・・1868＝ 9歳：藩が新規に採用したイギリス式訓練(兵士の訓練)の太鼓役に出仕するものの、戊辰戦争終・1869＝10歳：半年でドイツ式のラッパに改変され失職。新設の藩の英学校に給費生として寄宿する幸運に恵まれるも、

廃藩置県・・1871＝12歳：廃藩置県となり、官費支給が絶たれて、中途退学、内職を家業にくら替えした父の手助けをするうち、

明治6年政変 1873＝14歳：乞われて、従姉の嫁ぎ先である東京浅草の塗物商飛騨屋の奉公人となった。深夜に人目を盗み、読売仮名付新聞で文字を覚えるなど、必死に勉学に励むが、

三つの内乱・1876＝17歳：主人夫婦が揃って死去したため、帰郷し、_三味線作りに飛騨屋仕込みの早起遅寝で奮闘、西南戦争・・1877＝18歳：_父から一家をまかされるが、

大工の半分位しか稼げぬ苦況が続き、

明治14年政変1881＝22歳：

秩父事件・・1884＝25歳：_父が病死して一層厳しくなったため、長年稽古していた長唄を生かして唱歌の教師になろうと修業、

帝国大学始・1886＝27歳：国民之友始・1887＝28歳：*愛知県師範学校音楽教師恒川鏡之助に入門してまもなく、同門から見せられた和製バイオリンに魅了される。徹夜で模写し、一週間で仕上げた初作を恒川に見せて褒められ、第二作が売れて注文も舞い込み、

初の対等条約1888＝29歳：_助手数名を雇って製造を開始。岐阜県師範学校に本物の舶来品があることを知ると、自作のバイオリンを携行して、一騎打ちを挑んで惨敗、茫然自失となるも天職の信念揺るがず、親戚・家人等の激烈なる反対を排して家業を廃して専念することを決意。

帝国憲法発布1889＝30歳：この年、結婚。*東京音楽学校のテストにパスし、(日本楽器の前身)共益商会在販売を引受けてくれることになり、工場を建設して本格的生産に乗出す。

大本教・・・1892＝33歳：アメリカのコロンブス世界博への愛知県出品同盟会幹事。

日清戦争始・1894＝35歳：

日清戦争終・1895＝36歳：

子規句歌革新1898＝39歳：鎮一が誕生。パリ万国博への愛知県出品同盟会幹事。

ピアノ国産化・1900＝41歳：_特殊専用機械を発明し、バイオリン製造の機械化に成功。パリ万国博に出品して銅賞を得る。

田中正造直訴1901＝42歳：_はじめてマンドリンを持ち帰って日本に紹介した比留間賢八からマンドリンの製作を勧奨を受けて、

教科書疑獄・1902＝43歳：第2回全国生産品博覧会審査員。_そのマンドリンを見本として日本で最初のマンドリンを製作した。

日露戦争始・1904＝45歳：

日露戦争終・1905＝46歳：

韓国反日暴動1907＝48歳：名古屋市議員となる。

韓国併合・・1910＝51歳：議員を辞め、_ロンドンでの日英博への出品を兼ねて渡欧、ドイツ製に劣らない評価を得、各国の音楽事情を視察して帰国。

明治天皇没・1912＝53歳：

大正政変・・1913＝54歳：

第一次大戦始1914＝55歳：*第一次大戦が勃発してドイツ製品を使えなくなった欧米諸国から注文が殺到するようになり、以後、工場を次々拡張、世界的なメーカーとなっていく。

ロシア革命・1917＝58歳：緑綬褒章。

ベルサイユ条約・1919＝60歳：名古屋住宅株式会社を創立し社長。

原敬首相暗殺1921＝62歳：

水平社結成・1922＝63歳：

治安維持法・1925＝66歳：紺綬褒章。

円本時代始・1926＝67歳：名古屋硝子製造所専務に就任。

海軍軍縮条約1930＝71歳：_鈴木バイオリン製造株式会社を創設し社長に就任。

満州事変・・1931＝72歳：

芥川直木賞始1935＝76歳：*社長を辞任し相談役。

日中戦争始・1937＝78歳：

大政翼賛会・1940＝81歳：

敗戦・・・1945＝86歳：_没した。

「目でみる日本人物百科」、インターネット、